

9. 種類別明細書（増加資産・全資産用）の記載例

資産の種類
 1は構築物・建物附属設備
 2は機械及び装置
 3は船舶
 4は航空機
 5は車両及び運搬具
 6は工具、器具及び備品

取得価額
 資産を取得（製作改良を含む）するために、通常支出すべき金額（資産の買入手数料、周旋料、輸送費、掘付費用等を含めたもの）を記載してください。
 ※圧縮記帳は償却資産の評価上認められていませんので、圧縮する前の「実際の取得価額」を記載してください。

令和 3 年度
 申告年度を記載してください。

※ 前年（令和2年）中に取得した資産及び前年までに取得した資産で申告もれとなっていた資産を記載してください。今年度（令和3年度）初めて申告される方は鹿児島市内にある全資産を記載してください。

所有者名
 氏名又は名称を記載してください。

耐用年数
 減価償却資産の耐用年数等に関する省令に掲げる耐用年数を記載してください。
 ただし、国税局長の承認したもの、または税務署長が認定した耐用年数によるものについては、当該耐用年数を記載してください。
 耐用年数は「e-Gov法令検索サイト」から「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」で検索して確認することができます。（同省令の別表1、2、5及び6に基づいて記載してください。）

* 所有者コード *		種類別明細書(増加資産・全資産用)													
行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数	取得年月			取得価額	耐用年数	減価残存率	価額	課税標準の特例	課税標準額	増加事由	摘要
					年号	年	月								
01	1		駐車場舗装	1	5	2	4	2,530,000	10	0.				1.2 3.4	
02	2		印刷機	1	5	2	8	12,250,000	10	0.				1.2 3.4	法附則第15条第43項
03	6		応接セット(中古)	1	5	2	5	780,000	9	0.				1.2 3.4	記載する必要はありません
04	6		パソコン	2	4	30	8	360,000	4	0.				1.2 3.4	令和2年8月社内移動
05	6		エアコン	1	5	2	6	450,000	6	0.				1.2 3.4	申告もれ
06	2		太陽光発電装置	1	4	31	4	1,700,000	17	0.				1.2 3.4	
07									0.					1.2 3.4	
08									0.					1.2 3.4	
09									0.					1.2 3.4	
10									0.					1.2 3.4	
11									0.					1.2 3.4	
12									0.					1.2 3.4	
13									0.					1.2 3.4	
14									0.					1.2 3.4	
15									0.					1.2 3.4	
16									0.					1.2 3.4	
17									0.					1.2 3.4	
18									0.					1.2 3.4	
19									0.					1.2 3.4	
20									0.					1.2 3.4	
小計				7				18,070,000						1.2 3.4	

そのままパンチ入力しますので、文字、数字は欄内に明確に記載してください。「/」や「同上」は不可。

年号
 令和は5、平成は4と記載してください。

増加事由
 1 新品取得
 2 中古品取得
 3 移動による受入
 4 その他
 該当する番号を○で囲んでください。

摘要
 当該資産について、次のような事項を記載してください。
 イ、非課税または課税標準の特例がある資産については、その適用条項
 （例、法附則第15条第43項）
 ※非課税の場合は非課税申請書、特例の場合は許認可書等内容が確認できるものを添付してください。
 ロ、他の市町村から移動して受け入れた資産については、その旨の表示と移動年月。
 （例、令和2年8月社内移動）
 ハ、貸付資産（リース資産）については、貸付先の所在町名、氏名または名称。
 ニ、その他、当該資産の価格の決定にあたって必要な事項。
 （例、申告もれ/取得価格の変更/耐用年数の変更等）

第二十六号様式別表一（提出用）

※3枚複写の「提出用」と「入力用」のみ市へ提出してください、「控用」は提出不要です。